

■After 建築名称 下段: 英語名	MARU。architecture上野桜木事務所		
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス	
改修設計者	MARU。architecture	URL	
所在地	東京都台東区上野桜木1-4-5	Google Map	
改修年	2019年		
建築規模	延床面積182.57㎡、地上2階		
掲載書誌			After 外観: 車庫であった特徴を活かし街に大きく開かれた開口 撮影者 撮影: 中村絵 提供者 提供: MARU。architecture 概要 after あらわしの構造梁や木造の床組、外壁のような内壁塗装、大きな4枚引戸によって、前面道路に対して開放的な空間とした。
賞・選定			
資料・その他		URL	
■Before 建築名称	事務所車庫		
建築用途	大分類 その他	小分類 車庫	概要 before 1階の間口はシャッターのみで床は水勾配のついたコンクリート床の事務所車庫として使われていた鉄骨造の建物。
■写真 Before 改修前の車庫の外観	After 設計室内観。既存天井を剥がし露出した鉄骨は既存のままとし木部を塗装している。	After 排水用の床懐を確保するため、手前の床は一弾高くしワンルーム内に異なる居場所を設けている。	
		撮影者 撮影: MARU。architecture 提供者	撮影者 撮影: 中村絵 提供者 提供: MARU。architecture
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、スケルトン	内容 <MARU。architecture websiteより> 東京芸術大学音楽校舎に隣接した200㎡程度の鉄骨造の建物のリノベーションです。改修にあたっては、シャッターの内側の建具をインテリアの障子のように捉え、ポリカーボネート素材の大きな木製框戸で設えました。間口に対して、4枚の引き戸によって大きく開放することができ、いわゆる内外の建具よりも簡易で開放的な建具です。室内の床は、水勾配のついた既存のコンクリート床をそのまま残し、水をそのまま流すこともできる道と連続したしつらえとし、室内の壁面は、一般的には外壁塗装に用いるローバル塗装を使って外壁のように設えています。天井は構造梁や木造の床組を表しとして、ハンモックなどを吊るすなどができる手がかりをつくっています。	
■備考			
■作成者 氏名/所属	MARU。architecture		作成協力